

浦河町社協だより

ゆうなぎ

No.29



～中高生福祉体験活動に参加してくれたみなさん～

平成 22 年 2 月発行
社会福祉法人浦河町社会福祉協議会

《 本号の内容 》

◇平成21年度事業経過報告	・・・	2～3 ページ
◇老人クラブ連合会の活動紹介	・・・	4～5 ページ
◇ボランティア関連情報	・・・	6 ページ
◇地域福祉に関する情報提供	・・・	7 ページ
◇愛情銀行へのご寄付	・・・	8 ページ

～この社協だよりは、共同募金の配分金の一部が使われています～

平成21年度事業経過報告

新しい一年が幕を開けて早や一ヵ月が経過いたしました。二月は逃げると言いますが、あっという間に今年度も過ぎ去ってしまいそうです。

浦河町社会福祉協議会は今年も各事業を通じて、地域福祉の推進を図ってまいります。本号では、今年度行われた事業の様子をいくつか紹介するとともに、来年度に向けた取り組みの経過についてもお知らせいたします。

～浦河町社会福祉協議会では以下のような事業を行っています～

- (1) 要援護世帯の把握と各関係機関との連携
- (2) 地域福祉ネットワークづくり
 - ・自治会福祉部の設置推進【7ページ参照】
 - ・小地域ネットワーク活動推進会議の開催
- (3) 広報誌などを活用して、地域福祉・在宅福祉に関する情報を提供しています。
- (4) 心配ごと相談所の運営
- (5) 介護保険サービス事業等の実施
- (6) 障害福祉サービス事業の実施
- (7) 養護老人ホームちのみ荘の受託運営
- (8) 高齢者生活支援等サービス事業の実施（受託事業）
 - ・受託事業（給食サービス、移送（外出支援）サービス、電話サービス）
 - ・単独事業（高齢者等電話サービス事業【7ページ参照】）
- (9) 地域福祉の拠点づくり
- (10) ボランティアセンター事業の推進【6ページに「交流事業」について掲載】
- (11) 住民参加型在宅福祉サービスの推進
- (12) 託老事業「愛の会」の支援【3ページ参照】
- (13) 「ふれあいサロン」（浦河ボランティア銀行主催）の支援【6ページ参照】
- (14) 地域福祉・在宅福祉サービスを担うマンパワー育成の支援【3ページ参照】
- (15) 地域福祉権利擁護事業の支援
- (16) 託児グループの支援
- (17) 自立と社会参加活動の推進（各団体の支援）
 - 社協が事務局を担っている団体／浦河町老人クラブ連合会【4～5ページ参照】
 - 身体障害者福祉協会浦河協会
 - 浦河町老人と共に歩む会【3ページ参照】
 - 浦河町ボランティア連絡協議会
- (18) その他の事業
 - ・共同募金運動の協賛【6～7ページ参照】
 - ・生活福祉資金貸付事業
 - ・母子・寡婦福祉資金貸付事業
 - ・母子等福祉資金貸付事業

～本誌前号「事業計画」より抜粋しています～

※各項目の詳細をご覧になりたい方は、前号の残部がございますので当社協(22-6800)までご連絡ください。

↓事業の様子をご覧ください↓

明るく楽しく笑顔でやさしく

～託老「愛の会」の活動風景～

託老「愛の会」事業は浦河町老人と共に歩む会の事業の一つとして、75歳以上のお一人暮らしの方や外出の機会が少なくひきこもりがちのお年寄り等を対象に、毎月概ね第3土曜日に開設しています。

家庭的な雰囲気の中で利用者同志、あるいはボランティアとの交流や憩いの時間を通して、一人ひとりが住み慣れた地域で活力と潤いに満ちた生活を送ることができるよう支援しています。また、在宅で介護している方達の負担の軽減もねらいにしています。



食事も楽しみのひとつ！写真は一年に一度のバイキングの様子。

＜浦河町老人と共に歩む会＞

認知症及び寝たきりの高齢者を支える家族などの交流を通して、認知症及び寝たきりの高齢者に対する理解を深めることを目的に、平成7年に発足した団体です。



託老「愛の会」のほか、定期的に訪問活動や相談事業も展開しています。会報の発行や会員の集いを通じて、会員相互のつながりも深めています。

←会員の集い(研修会)の様子



昨年12月は各地で活動中のマジシャンをお招きしました。

道社協連携講座

地域で支えるあんしん在宅介護講座を開催しました

11月9日(月)～10日(火)の2日間、総合文化会館で在宅介護講座を開催しました。

高齢者の介護を行っている家族や介護に関心のある町民を対象に、介護に関する知識や技術、認知症に関する正しい知識などを学びました。高齢者とその家族が住み慣れた地域で安心した生活を送る一助になることを期待しています。

なお、本講座は北海道社会福祉協議会の介護実習・普及センターと共催で行いました。



老人クラブ連合会の活動紹介

浦河町老人クラブ連合会（町老連）の行事は、道内研修旅行・老人スポーツ大会・老人福祉大会の三大会事をはじめとして、女性部研修会や親睦パークゴルフ大会などがあります。また、管内行事（芸能発表大会・リーダー研修会・女性リーダー研修会など）への参加を通じて、町外のクラブ会員と交流を図る機会もあります。

町老連の行事に参加するには、まずは町内各地域で組織されている単位クラブに所属する必要があります。浦河町内には14の単位クラブがあり、クラブの規模や活動内容はさまざまですが、独自の活動を展開しています。

■道内研修旅行(5月下旬～6月上旬/2泊3日)

行き先は理事会で決定されます。
過去の旅行先は以下のとおりです。

- ・平成16年度 阿寒湖方面
- ・平成17年度 二セコ方面
- ・平成18年度 定山溪・札幌方面
- ・平成19年度 函館・洞爺湖方面
- ・平成20年度 然別湖方面
- ・平成21年度 登別方面
- ・平成22年度 十勝川方面（決定済）



■管内行事への参加

日高支庁地区老人クラブ連合会が行う行事に参加する機会もあります。

写真は管内芸能発表大会の様子です。



■老人スポーツ大会(7月上旬)



全11種目を4地区対抗で競います。走ったり投げたりする種目だけでなく、頭を使うものや慎重さを競うもの、運を試すものなど、さまざまな種目を楽しむことができます。
毎年非常に白熱する大会です。



■老人福祉大会(10月下旬)

歌や踊りなど、日頃の活動の成果を発揮する芸能発表大会です。若々しい歌声や息の合った踊りが披露され、毎年会場は盛り上がります。

また、永年功労者を表彰するとともに、交通事故から身を守るために啓発を行い、交通安全の励行を確認しています。



町老連の行事に関する問合せ・最寄りの単位クラブに関する問合せなどは、町老連事務局までどうぞ。

事務局（社協）：22-6800

ボランティア関連のご報告

□□ボランティア団体交流会

9月5日(土)

浦河町ボランティア連絡協議会では、毎年夏に町内のボランティア団体相互の交流を図るために、合同で清掃活動を行っています。

現状では4団体のみの加入となっていることから、ボランティアセンターを通じて町内の幅広い団体にも声かけして実施しました。

小雨まじりの中、日頃は違った活動をしているボランティア同志が、この日は同じ活動を通じて交流を図りました。清掃が終わった後は、参加者お楽しみの昼食会で親睦を深めました！



□□ふれあいお食事会・お話会

浦河ボランティア銀行では、町内を5つの地区に分けて、各地区の会場を利用して一人暮らしの高齢者を対象にしたお食事会を行っています。年間3回を目標に実施しており、今年度はすでに2地区で開催し、各会場とも参加者とボランティアの笑顔であふれました。

6月22日(月):東町地区
11月25日(水):堺町地区



<浦河ボランティア銀行>

浦河町内で、主に高齢者の方々と相手をボランティア活動を行っている団体です。現在約 80 名の会員が在籍し、給食サービスや電話サービスへの協力、浦河緑苑への訪問などの活動をしています。



□□街頭募金運動

赤い羽根共同募金運動の期間中、2回にわたり街頭募金を行いました。

ご協力いただいたボランティアの皆様方、大変ありがとうございました。

※今年度の募金結果は、
7ページをご覧ください。

<協力団体>

- ・国際ソロプチミスト浦河の皆さん
- ・浦河青年会議所の皆さん
- ・ボランティアグループはまなすの皆さん

10月3日(土)
11月7日(土)



ご協力のお礼とお知らせ



共同募金運動へのご協力ありがとうございます

～「じぶんの町を良くしたい」という気持ちが地域福祉推進の原動力です～

毎年 10 月から 12 月までの期間で全国一斉に取り組まれる赤い羽根共同募金運動に、今年度も個人・団体・企業をはじめとした多くの皆様方のご協力を頂戴いたしました。まずは誌面を借りて、厚く御礼申し上げます。

今年度寄せられた募金は、一度北海道共同募金会に送金した後、来年度のさまざまな事業に役立てるために各分会に配分されることになっております。浦河町における使途（使いみち）につきましては、年度明けに改めて本誌などを通してご報告申し上げます。

平成 21 年度募金実績額 1,557,163 円

じぶんの町を
良くするしくみ。



赤い羽根共同募金

10月1日(木)～12月31日(木) www.aohane.jp

◇社協からのご案内◇

各種お問い合わせは…
浦河町社会福祉協議会
(22-6800) まで。

□行事用テントの半額購入を受付します

共同募金会浦河分会（事務局／社協）では、来年度の配分金を活用して「行事用テント」を 1 組申請しています。それにより、テント本来価格の半額での購入が可能になります。

町内でテントの買い替えを検討中の自治会や団体等がございましたらご連絡ください。

- ・購入者負担額(22 年度) 93,450 円
- ・テントの屋根には「赤い羽根共同募金」と印字されています。

□自治会に福祉部を設置してみませんか？

社会福祉協議会では、町内の自治会に福祉部の設置を促すために、新たに福祉部を設置する自治会に活動助成金を交付しております。すでに 50 カ所の自治会が設置しており、独居高齢者宅への訪問や食事会の開催など、独自の活動を展開しています。未設置の自治会におかれましては、ぜひご検討ください。

＜助成内容＞

①と②の合計額

①基本額 5,000 円

②世帯数 × 200 円

□高齢者等電話サービスをご利用ください

昨年度から受託事業としての電話サービスとは別に、社会福祉協議会独自でもお一人暮らしの高齢者（概ね 75 歳以上）を対象に電話サービスを行っています。一週間に一度（月曜日か火曜日）の電話がけですが、何気ない会話を通じて少しでも心に張りをもたせませんか？

ご利用の流れや留意事項については、社会福祉協議会で常備していますので、ご本人あるいはご家族からのお問合せをお待ちしています。

《愛情銀行へのご寄付》

(平成 21 年 7 月～12 月取扱分)

社会福祉振興基金へのご寄付

・浦河赤十字学生奉仕団 様	13,621 円
・浦看祭バザー係 様	3,240 円
・梅田 和義 様	300,000 円
・三好 才 様	30,000 円
・(有)信岡牧場 信岡 幸則 様	1,000,000 円
・吉津シヅエ 様	200,000 円
・(株)マツダ 代表取締役 松田 英稔 様	100,000 円
・浦河町博物館友の会 会長 荻野 節子 様	3,000 円
・浦河建設協会 会長 上田 正則 様	11,110 円
・浦河消費者協会 会長 小林美代子 様	3,000 円

・笠松 フミ 様	50,000 円
・荻伏商工納税貯蓄組合 組合長 内海 雅之 様	51,477 円
・大野 政二 様	10,000 円
・岡部 ヨネ 様	30,000 円
・青木 宣子 様 (新冠町在住)	50,000 円
・浦河第一中学校 生徒会 様	27,513 円
・国際ソロプチミスト浦河 会長 宮内登志子 様	30,000 円

その他のご寄付・寄贈

<車いすの寄贈>

・塚田 恵一 様

リングプルなどの収集物品もたくさん寄贈いただきました！

町内の個人や学校、老人クラブ、任意団体などからたくさんのリングプルが寄せられます。

ボランティアさんと一緒にアルミ以外のものを取り除きながら袋詰めします。

リングプル再生ネットワーク（プルネット）に送ります。

再生の流れ ～リングプル編～



所定の重さに達したら、車いすをはじめとした介護用品に交換し、有効に活用しています！

編集後記

先月十七日は阪神・淡路大震災から十五年の節目の日として、各メディアで取り上げられていました。思えばあの災害を契機に「ボランティア」の存在が世間一般に認知されました。一九九五年が日本におけるボランティア元年と言われる所以です。地震に限らず、いつ襲ってくるかわからない災害。そのときこそ「地域の力」が試されます。一人ひとりが地域の一構成員として、周りに関心を持ち、ときにたすけあいの気持ちでふれあい、「お互い様」の心でささえあえれば、「いざ」というときに役立つ人と人とのつながりが育まれるはずです。

ボランティアを「活動」という尺度で測れば、限られた人にとつての関心事かもしれないですが、やさしさや思いやりといった「ボランティアの心」は誰しもが持っています。そうしたかけがえのない気持ちを言葉や行動に表していくことが、「地域の力」を高める一つのきっかけになるのではないかと感じる今日この頃です。

(いしぐろ)